

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
124		情報公開、個人情報保護推進	01	01	一般会計
57		伊賀市としての一体感を生み出す	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			09	09	情報化推進費
			102	102	地域情報化推進経費
			01	01	情報公開、個人情報保護推進経費
担当部課名	企画振興部 広聴広報課		細目		
作成者氏名	植田 美由喜	連絡先	22-9636		
細々目					

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民		行政情報を公開することにより、知る権利を保障し、適正な個人情報の取扱いと保護により個人の権利利益を守り市民参加による公正で民主的な信頼される市政の推進を行う
本年度事業内容	市政全般に関わる情報を市民と共有するため、個人情報適正な取扱いと保護をしつつ、積極的に迅速な行政情報の提供及び公開を行う。	
根拠法令・要綱等	自治基本条例、伊賀市情報公開条例、施行規則、伊賀市個人情報保護条例、施行規則、	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.29	1.29	2
人件費合計(A)	9,288	9,288	14,400
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	157	202	202
委託料			
報酬	69	120	120
需要費	82	75	75
その他	6	7	7
合計(A+B)	9,445	9,490	14,602
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財	34	10	20
一般財源	9,411	9,480	14,582
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
情報公開請求件数	件	211	300	350			
情報公開件数	件	173	270	320			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
情報公開請求件数	本件数の増が市政への関心の度合を示す指標となる	件	211 目標 ()	300	350
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

年々情報公開請求件数が増加している。「市民の知る権利を保障する」ため、個人情報などの非公開情報に配慮しつつ、迅速な公開を進めている。
--

評価	有効性	3	情報公開請求や参声広場の運用等、市民の市政に対する関心や意見の件数は年々増えている。それらの市政への反映・推進については改善すべき点があり、今後の運用を考えていきたい。また、制度について職員に統一解釈を周知することが必要である。 市民参加による公正で民主的な信頼される市政の推進のため、情報公開と情報提供の相違を理解し積極的な情報提供を進める必要がある。	総合評価 B
	達成度	2		
	効率性	2		